

# 王寺町 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成27年1月

王 寺 町

### 1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「王寺町通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

### 2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関との連携を図るため、以下のメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。

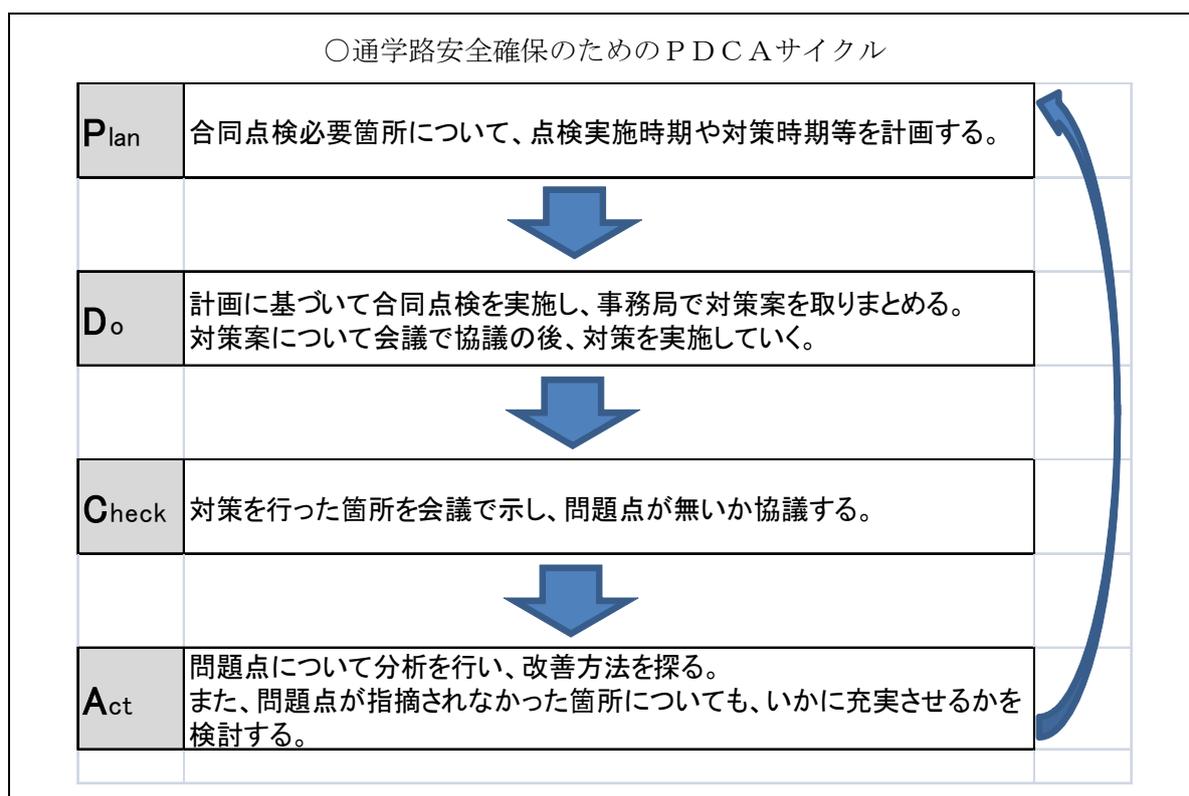
- ・ 王寺町教育委員会
- ・ 町立各小中学校及びPTA代表者
- ・ 王寺町地域整備部建設課
- ・ 奈良県高田土木事務所
- ・ 国土交通省奈良国道事務所
- ・ 西和警察署

また、必要があれば他の関係機関とも連携を図ります。

### 3. 取組方針

#### (1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。



## (2) 定期的な合同点検

### ○合同点検の実施時期等

- ・町内の小学校は、1年に1回、通学状況の確認やPTA等からの情報収集により、通学路上の危険箇所の抽出を行ったうえで、新規の危険箇所について王寺町教育委員会に報告を行うこととします。
- ・王寺町教育委員会は、各小学校から提出された危険箇所の情報を整理し、関係機関と調整のうえ、合同点検を実施します。

### ○合同点検の体制

- ・小学校ごとに、学校、保護者、道路管理者、警察等が参加する合同点検を行います。

## (3) 対策の検討

- ・合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

## (4) 対策の実施

- ・対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係機関で連携を図ります。

## (5) 対策効果の把握

- ・合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒が安全になったと感じているのか等を確認するため、毎年の合同点検前に対策実施後の箇所について各小学校に意見を求めることにより、対策効果の把握を実施します。

## (6) 対策の改善・充実

- ・対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

## 4. 箇所図、箇所一覧表の公表

小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係機関で認識を共有するために小学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

### 【別添資料】

- ・対策一覧表・対策箇所図